

# 学習だより (第6号)

令和4年1月19日

冬休みには、規則正しい生活、計画的な学習ができていたでしょうか。3年生は私立の受験が始まり、すでに進学先が決まった生徒もいます。その場合には、中学校3年間の振り返りを丁寧に行ったり、高校入学後に向けて、苦手な内容の克服や得意な内容をさらに伸ばしたりと自分のペースで学習に励むこともできます。家庭でももう一度、家庭や学校での過ごし方について話し合ってみてください。これからの3年生は、体調管理を万全にしつつ、最後まで学習に取り組めると良いでしょう。

1、2年生は1年間のまとめに入ります。進級に向け、充実した毎日を送れるように学校でも手助けをしていきたいと思います。

## 【自主学習について】

今年は家庭学習（特に自主学習）に力を入れ、取組をはじめたところです。一部紹介したいと思います。ぜひ、参考にしてみてください。

まずは、考え方になりますが、（家庭学習）＝（宿題）＋（自主学習）と考えています。宿題は学校から提示する最低限の内容になります。そこで家庭学習の中で、自主学習に取り組める力を育むことを重点目標として取り組んでいます。

1年生での例を示したいと思います。（概略）

12月 8日（水） 1学年職員の共通理解

12月13日（月） 自主学習開始

12月22日（水） クラス単位での提出率の確認

※全員が意識をもつ、きっかけづくりとして実施

12月23日（木） 学年朝会で、自主学習についての説明

12月24日（金） 学級活動時に互いの自主学習ノートを見合っ、良い取組へ付箋紙を使い、コメントを入れていく。



学年職員による共通理解に進むまでに、学習部会での話し合いや学年内での考えの相違の調整などを経て、陽南中学校としての取組を決定しました。目的の1つ目は「自主学習の習慣化」、2つ目は「追求することの楽しさを感じ、主体的に取り組む力を養う」になります。

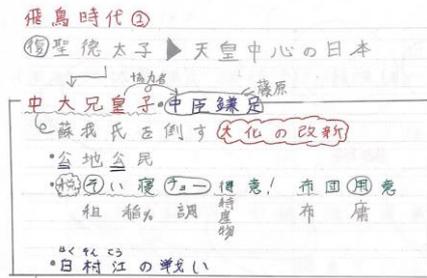
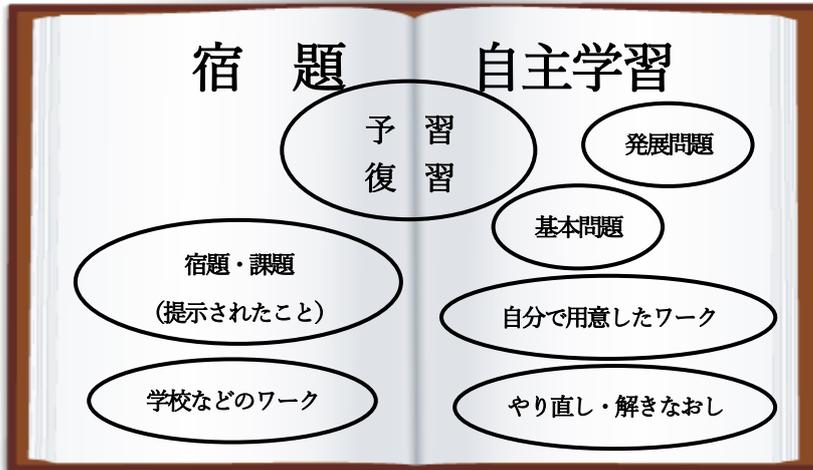
初めは、「自主学習を始めます。ノートを用意しましょう。明日から提出です。」とだけ伝えました。提出率はクラス毎にばらつきがあり、内容もさまざまで、宿題を出してくる生徒や塾でやったことをそのまま出す生徒なども見られました。そこで、まずは一人ではやる気が起きない生徒に対して、提出率の提示などのクラスでの団結を図りながらの実施を試みました。本来は、強制してやることは目標とは異なりますが、実態としては指示が必要な生徒がいることも事実であり、学年としての手段の1つとして考えました。次に、学年朝会において家庭学習、宿題、自主学習の考え方や具体的な方法などを説明しました。翌日にはクラス内で、生徒同士の自主学習ノートを見合うことで、よく取り組んできた生徒には自己肯定感や満足感、有用感が生まれるように、まだどのように取り組んだらよいか分からない生徒には、見本として「知る」「学ぶ」機会として実施しました。

冬休み後の自主学習の内容は明らかに変化が見られています。自分のために学習しようとするノートが多く見られるようになりました。この後、クラスの枠を越えての取組の確認もしていきます。

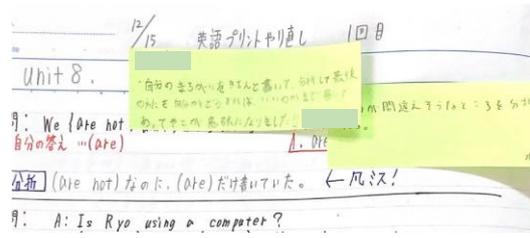
最終的な目標は、1日、1週間、1か月などの計画性の中で、自分で考えて取り組む主体性を育てたいと考えています。2年生でも学年行事や発達段階を踏まえ、学習について取り組み始めるところです。頑張っ

ていることに対して、認め、ほめることを大切に自主学習には取り組ませていますので、家庭でのご協力もお願いします。

1年生に説明した「家庭学習」のとらえ方の例を視覚化してみました。  
考え方は他にもありますが、参考にしてみてください。



覚え方を工夫して、まとめている

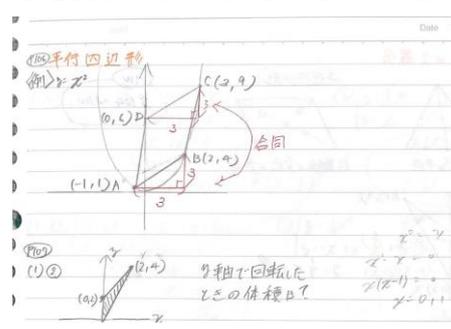
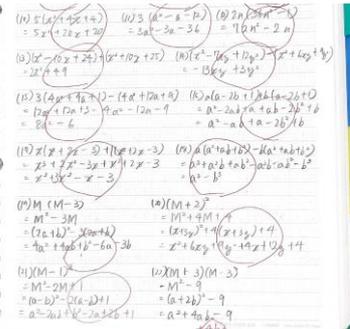


友達のノート見て、参考にしたり、良いところを見つけたりしました。

数学をよく理解している3年生の例です。

必要な計算はきちんと書いています。グラフの問題では図を大切にしています。

また、合同の証明では図に等しいところを記すなど、視覚も大切にしています。



図が少し見にくいいため、HPには学習日よりとともに、学芸委員会が朝会で使用した資料（ほぼ同内容で）を載せてあります。